

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和2年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和2年度に実施した 具体的施策の内容	令和2年度 (2020年度)			
対策	事業			目標値	実績 (見込)	赤字削減効果 額(見込)	算出根拠等
(1) 「健康経営」及び医療費適正化対策 ① 「健康経営」事業の推進	-1 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施	新規人工透析移行者数減少率(平成28年度実績比)	埼玉県、国保連、市町村の共同事業である「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加し、糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析への移行を防止するための相談事業を委託により実施。	3%減少	現段階では算出困難	現段階では算出困難	(R2.4~10月) 新規人工透析患者数:36人 (R元同時期:40人) ※R元は76人 基準となるH28は85人
	-2 特定健康診査と個別のがん検診と同時受診の体制強化	特定健康診査受診対象者のうち特定健康診査と胃がん検診の双方を受診した者の率	個別胃がん検診と特定健診と同時受診を可能とし、対象者が双方を受診しやすい体制の整備を整え、周知を図った。(数値は、特定健診と個別胃がん検診(内視鏡及びX線検査)を受診した者の割合)	9.48%	現段階では算出困難	現段階では算出困難	(R3.1.19現在 R2.6~11月の実績) 胃内視鏡844人 胃X線(個別のみ) 2,022人 ※R1は胃内視鏡1,478人、X線2,771人 ※胃内視鏡はコロナ影響によりR2.6~8月は実施中止 ※同時受診については、検診終了後に健康管理課が国民健康保険課にデータ作成を依頼し、そのデータから抽出するため、現段階では算出できない。
	-3 ときも健康プロジェクトの推進	プロジェクトの開催回数	ときも健康プロジェクトの会議を開催し、関係課による情報交換と、事業に関する検討を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い一部開催を見合わせた。	7回/年	3回	—	(R2.12月末現在) ワーキング1回 今後の見込み ワーキング1、推進部会1
	-4 スポーツや運動関連の情報提供	教室・イベントの紹介数	特定保健指導実施の際に健康マイレージ事業の紹介を行った。その他、健康づくり支援課の運動教室、介護予防普及啓発講演会(介護予防の運動教室)、生涯スポーツフェスティバル、健康まつりの照会を予定していたが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となった。	3件/年	1件	—	(R2.12月末現在) ・コバトン健康マイレージの紹介
	-5 関係機関との連携	医療機関向けアンケートの実施及び集約した意見をもとに内容の改善の回数	R元度末に実施した医療機関向けアンケートの結果を踏まえ、R2年度の特定健診の改善を行った。R2年度末にもアンケート実施予定。	1回/年	1回	—	・ポスターの改善 ・医療機関への事業案内を改善
	-6 地域包括ケアの推進	地域包括支援センターが開催する地域ケア会議等での情報提供回数	地域ケア担当者全体会議に参加し、特定健診受診・特定保健指導利用の呼びかけを依頼。その際、KDBシステムを活用した健康課題に関する地区別データを情報提供した。	8回/年	2回	—	(R2.12月末現在) ・地域ケア担当者全体会議1回 ・高階支会自治会長会議1回

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和2年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和2年度に実施した 具体的施策の内容	令和2年度 (2020年度)				
対策	事業			目標値	実績 (見込)	赤字削減効果 額(見込)	算出根拠等	
(1) 「健康経営」及び医療費適正化対策	① 「健康経営」事業の推進	-7 経営改善の方策	保険給付費等交付金特別交付金(保険者努力支援制度)の交付金額	各種保健事業や医療費適正化施策、収納率向上対策等に係る事業を実施し、交付金の獲得に努めた。	318,000千円	282,531千円	△31,558千円	国保制度改革により、H30との比較 282,530,796(R2)-314,088,566(H30)=△31,557,760
		-8 健康長寿埼玉プロジェクトの推進	事業への新規参加者数	埼玉県コバトン健康マイレージ事業について、特定保健指導、保健事業実施の際に、事業PRを行い、参加を呼び掛けた。	1,000名	現段階では算出困難	現段階では算出困難	(R2.12月末現在) 事業参加者数:2,661人(うち国保1,072人/新規158人)
		-9 健康メッセージ事業	応募作品数	「健診について考えよう」をテーマに、小学生から両親、祖父母等大切な家族等がいつまでも健康であるために、健康について考えるようメッセージを送るもので、令和元年度開始(優秀作品を選び、特定健診受診率向上等に役立てる)。	80作品	R2年度募集 77作品	—	新型コロナウイルスの影響もあり応募は77人とどもったが、多くの小学生の応募があった。子どもからの温かなメッセージを受け取ることで、健康について考えるきっかけを作る。
		-10 他の医療保険者との共同事業の実施	他保険との共同事業の実施回数	残薬対策事業を後期高齢者医療保険と実施、特定健診受診勧奨の合同チラシを後期高齢者医療保険・協会けんぽ埼玉支部・埼玉土建国保・建設埼玉と作成・配布。市民向けの講演会については新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	1回/年	2回	—	・残薬対策事業を後期高齢者医療保険と実施(R2.11~R3.11予定) ・合同チラシの作成および配布。 ・製薬会社との共催の市民公開講座に他保健者とともに講座及び相談会を開催予定だったが中止とした。
	② 保健事業	-1 「保健事業等実施計画(データヘルス計画)」の推進	データヘルス計画の評価結果による事業実施数(新規事業含む)	「保健事業等実施計画(データヘルス計画)」(第2期保健事業実施計画)に記載された、新規保健事業について、事業を実施した。年度内に中間評価を行う。	13事業	13事業	—	昨年度までに実施した各事業の継続実施及びR2新規事業として、糖尿病性腎症重症化予防を目的とした歯科の取り組み、重複・多剤服薬対策事業実施 等
		-2 特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上	特定健康診査受診率	・特定健診受診率向上に向け、これまでの取組に併せ、データヘルス計画に掲げた取組を実施。 ・通知による受診勧奨の実施。 ・インセンティブ事業の実施。 ・ときも健康メッセージ・健康川柳の募集。 ・SNSを積極的に利用した広報と勧奨を実施。 ・4保険者および健康管理課(がん検診)と合同で受診勧奨チラシを作成・配布。 ・医師会等に健診啓発ポスターの掲示、チラシの配布を依頼。 ・街頭でのキャンペーン等は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	46%	R2年度の受診率はまだ出ていない(参考) R2.12.28現在受診率速報値18.9%(R元同時期受診率速報値23.2%)	現段階では算出困難	特定健康診査受診率向上のための今年度の取り組み ・ナッジ理論等を利用した通知による受診勧奨 ・ときもいきいき健診プレゼントキャンペーンの実施 ・ときも健康メッセージ・健康川柳の募集 ・SNSを利用した広報と勧奨 ・4保険者および健康管理課(がん検診)と合同チラシの作成、配布 ・医師会等に健診啓発ポスターの掲示、チラシの配布を依頼

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和2年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和2年度に実施した 具体的施策の内容	令和2年度 (2020年度)			
対策	事業			目標値	実績 (見込)	赤字削減効果 額(見込)	算出根拠等
③ 医療費適正化	-1 レセプト点検強化	レセプト内容点検による減額 査定額	業務委託によりAIを活用したレセプト点検を 行っている。効率的な点検が行われるように、再 審査結果を分析し、以降の点検に活用してい る。	0.12%	0.11% (11月末まで)	5,241,864円	11月末までの実績0.11% (3,494,576円)×1.5
	-2 療養費支給の適正化	療養費支給申請書の返戻件 数	柔道整復療養費について、多日数、多部位、 長期受診等の単月点検及び縦覧点検を行って いる。本年度についても、回数を3回に増やし て、1月～3月に実施している。 入院レセプトと療養費支給申請書の突合につ いては、今年度中に実施予定。	330件	現段階では 算出困難	現段階では 算出困難	3回の実施について、結果の判明がこれ からのため。
	-3 ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合 (年度平均数量シェア)	ジェネリック医薬品希望シールの配布、利用差 額通知の実施。ジェネリック医薬品利用率の低 い若年者向けの積極的な周知啓発として、令和 2年度からツイッターや川越市ホームページへの 記事掲載を開始。こども未来部各課での周知、 子育て情報誌への記事掲載なども。	80.0%	81.5% (R2.12月審 査分)	現段階では 算出困難	効果額は国保連に依頼して算出するた め、現状では算出できない。
	-4 第三者求償の取組み	求償件数	第三者特記事項が付いているレセプトにつ いて、医療機関への確認を行っている。 連合会リストを利用し、医療機関に確認後、被 保険者へ勧奨予定。	64件	58件	13,373,863円	12月末までの実績44件 (10,030,397円)×4/3
	-5 不当利得返還金の取組み	収入率	保険者間調整の案内を督促状と催告書にも同 封し、積極的に高額滞納案件解消を促してい る。	66%	50%	4,232,757円	12月末までの実績(3,174,568円)×4/3
	-6 医療費通知の取組み	保険者努力支援制度の評価 項目(年度により変更あり)を 全項目を満たしている率	医療費の総額、受診年月、医療機関名、診療 区分及び日数、柔道整復療養費等、保険者努 力支援制度の評価項目を全て満たした医療費 通知を送付している。	100%	100%	—	
	-7 残薬問題に関する対策	事業参加者数	処方薬で残薬がある者を対象に、協力薬局の 薬剤師が支援し、残薬の解消を図る。 川越市薬剤師会および城西大学と共同で実 施。本年度から来年度にかけて、市内協力薬局 で残薬相談に応じ、参加者の残薬改善状況の 調査を行う。	70人	—	—	R2.11月～R3.3 参加者(相談者)を募り、 報告事例を作成。 R3.4以降、参加者募集を継続、報告事例 を城西大学にて解析。 事業協力薬局数:27薬局 12月末参加者見込:53人 参加可能予定者数:100人～200人
	-8 重複受診、頻回受診 及び重複服薬	重複受診、頻回受診、重複服 薬者の受診行動に変化が あった者の割合	重複受診、頻回受診、重複服薬者をレセプト 情報から抽出し、対象者に通知を発送。相談期 間を設け、保健師が応じる。その後の受診行動 をレセプトにより確認する。	10%	—	—	国保連に対象者抽出を依頼。10月に通 知を発送、3ヶ月後の行動変容を確認す る。

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和2年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和2年度に実施した 具体的施策の内容	令和2年度 (2020年度)				
対策	事業			目標値	実績 (見込)	赤字削減効果 額(見込)	算出根拠等	
(2) 見直し 保険 税 設	①保険税設定の見直しに向けた検討	川越市国民健康保険運営協議会における保険税設定に係る会議開催回数	保険税の改定案について、川越市国民健康保険運営協議会に諮問を行い、協議いただいたうえ、同案を適当とする答申を得た。	5回/年	5回/年	—	—	
	②保険税の改定を実施	赤字削減額(令和元年度、3年度及び5年度に各3億円)	令和3年度の保険税の改定に向け、国民健康保険条例の一部改正を行った。	—	—	—	—	
(3) 収納 率 向 上 対 策	①口座振替の推進	3月期の口座振替加入率 (口振世帯数/国保世帯数)	当初課税時、納税通知書に口座振替依頼書の返信用封筒を同封するとともに、新たに、国民健康保険課窓口での加入の届出時に、口座振替依頼書の手渡ししている。	29.18%	28.65%	現年課税分 目標収入率 91.40% (90.48%) 滞納繰越分 23.43% (22.23%) 合計目標収 入率 74.53% (68.25%) ()は、H28実 績	R2.12末現在 調定件数 49,604件 口振件数 14,213件	
	②川越市納税呼びかけセンターを活用した納付勧奨	滞納者本人又は家族と対話できた割合 (対話件数/受発信件数)	納税呼びかけセンターが5月末で終了となったため、職員が納期限から2ヶ月経過しても納付が確認できない現年滞納者へ12月より電話催告を実施。オートコールシステムについて、令和3年度に運用開始予定。	29.7%	48.00%		R2.12末現在 受発信件数累計:1,277件 対話件数累計:613件 (R1.12末現在の受発信件数累計15,138件、対話件数累計:4,275件)	
	③現年課税分未納者に対する早期の差押えの実施	—	20万円以上の現年滞納事案について、10月から財産調査を実施し、12月から差押えに着手。	早期完結を図る	4件		R2.12末現在	
	④徴収困難事案の処分停止による収入未済額の圧縮	地区担当者毎に抽出した高額滞納事案上位300件の滞納整理率の課全体平均値	滞納整理を進める中で、徴収が難しい場合については執行停止を推進。	30%以上	40.3%		国民健康保険税未納額 5月末 1,192,165,551円 12月末 711,271,364円 整理額 480,894,187円	
	⑤新たな納付手法の導入	—	ペイジー納付・クレジット納付の導入費用、ランニングコストについて再検討し債権対策本部会議へ見直しについて図る予定だが、今後は新しくスマートフォンのアプリ決済の拡充をすすめる。	運用調整	—		Pay B 令和2年5月22日開始 LINEPay 令和3年2月16日開始予定	
	⑥短期被保険者証・資格証明書の活用	短期被保険者証・資格証明書の新規発行世帯数	短期被保険者証・資格証明書の候補世帯の選定、納付状況の確認、予告書の通知等を行ったうえ、新規発行を行う。	80世帯	119世帯		—	短期被保険者証(R2.8.1~)100世帯 資格証明書(R3.2.1~)19世帯
	⑦資格の適正化	国保資格の適用適正化調査項目数(3項目:二重加入、居所不明、擬制世帯、4項目:上記+無保険調査)	二重加入調査、居所不明調査、擬制世帯の調査を引き続き実施したうえ、新たに無保険調査を実施。	4項目	4項目		—	—